PoTS映像学シンポジウム Wordテンプレート (タイトル)

－(サブタイトル)－

電子 花子† 情報 太郎‡ 通信 次郎‡

Hanako DENSHI† Taro JOUHO‡ and Jiro TSUSHIN‡

†第一大学工学部 〒105-0123 東京都港区山田1-2-3
‡大阪株式会社開発部 〒565-0456 大阪府吹田市河田4-5-6

E-mail: †hanako@denshi.ac.jp, ‡{taro, jiro}@jouhou.co.jp

**あらまし** Microsoft WordによるPoTS映像学シンポジウムのテンプレートファイルです．

**キーワード** Windows，Word，PoTS映像学シンポジウム，テンプレート

1. 原稿用紙
	1. タイトルその他(1ページ目上部)に関して

原稿の1ページ目上部には，タイトル，発表者氏名，所属，住所，メールアドレス，キーワード及びあらまし(和文300字程度)を，それぞれ記述してください．

* 1. 本文に関して

本文は1.1の「タイトルその他」に続けて記述してください．記述に関しては，このテンプレートファイルを用いて作成するか，あるいは，任意のA4判の用紙を利用することができます．その場合には，執筆要項を参照してください．

1. 原稿提出枚数

シンポジウムのWebサイトに指定の提出枚数が記載してあります．図・表，写真を含め制限枚数以内で作成してください．

1. 原稿の書き方

文字の大きさ：ワープロおよびタイプの場合，本文は9ポイント活字を標準とし，字間および行間は適宜調整すること．なお，標題は拡大文字とするのが望ましい．

1. 図と表，写真

図面，写真，表の文字や数字は本文と同じ大きさとして下さい．

1. 発行日について

シンポジウム開催初日の1週間前（7日前）を発行日（公知日）としておりますのでご注意ください！

特許権につきまして、発行日から6ヶ月間は権利を主張できますが、投稿する方は投稿論文の特許，その他の権利を早めに申請する等，権利保護に充分注意してください。

1. 問合先

一般社団法人電子情報通信学会
汎光線時空間(PoTS)映像学時限研究専門委員会

E-mail：

**文 献**

1. (雑誌の場合) 著者名，“標題，”雑誌名，巻，号，pp.を付けて始め－終りのページ，月(英語)年.
2. (雑誌例1) 山上一郎，山下二郎，“パラメトリック増幅器，”信学論(B), vol.J62-B, no.1, pp.20-27, Jan.1979.
3. (雑誌例2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
4. (著書，編書の場合) 著者名，書名，編者名，発行所，発行都市名，発行年．
5. (著書，編書例1) 山田太郎，移動通信，木村次郎（編），pp.21-41,（社）電子情報通信学会，東京，1989．
6. (著書，編書例2) H. Tong, Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.
7. (著書の一部を引用する場合) 著者名，“標題，”書名，編者名，章番号またはpp.を付けて始め－終りのページ，発行所，発行都市名，発行年．
8. (著書の一部引用例1) 山田太郎，“周波数の有効利用，”移動通信，木村次郎（編），pp.21-41，（社）電子情報通信学会，1989．
9. (著書の一部引用例2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratlliff, Inhibitoryinteraction in the retina, in Handbook of Sensory Physiology, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
10. (国際会議の場合) 著者名，“表題，”会議名，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，都市名，国名，月（英語）年．
11. (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission, ” Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no.MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept.1990.
12. (国内大会，研究会論文集の場合) 著者名，“標題，”学会論文集名，分冊または号，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，月（英語）年．
13. (国内大会，研究会論文集例) 川上三郎，川口四郎，“紫外域半導体レーザ，”1995信学全大，分冊2,no.SB2-1,pp.20-21,Sept.1995.